

## <MMA TLWG- AMEI MPWG Meeting Report>

今年1月末に開催されたMMA / AMEI MEETINGにて、IEEE1394への双方の協調取組のため年間3-4回の会合を開催することが合意され、去る6月7日第1回TLWG (Transport Layer Working Group MMA) -MPWG (Music Protocol Working Group AMEI) ミーティングを米国サンノゼにて開催しました。AMEI代表としてMIDI規格委員会応用研究部会MPWGリーダーの本庄義治氏(ローランド(株))が出席されました。

### ■会場

San Joseの郊外、小高い山の頂上にあるIBM Almaden Research Centerの会議室で行われました。周囲は自然保護区域(?)で、1マイル四方の敷地は自然がそのまま残っています。建物は大学の研究施設か図書館といった雰囲気、広くて静かでした。

### ■出席者(敬称略)

TLWG: Jim Wright (TLWG Chair, IBM), Tom White (MMA Chair, Diamond Multimedia), Yoshi Sawada (TLWG, Yamaha America), Joe Bryan (TLWG, Hyperactive-Audio), Mike Kent (TLWG, Roland), Billy Brackenridge (MMA, Microsoft), Jarrell Irvin (MMA, Opcode) MPWG: 本庄義治 (MPWGリーダー、ローランド)

### ■会議内容

最初に、MPWGから4月の1394TA 2Q'99 Meeting(大阪)への出席等、本年度活動報告をおこない、6月の日経1394技術セミナーでのプレゼン、7月のMIDI Worldでのプレゼン&展示デモについて概略を伝えました。

**質問:** それらのプレゼンデータや関連技術資料はAMEIもしくはMMAのウェブで閲覧可能か?

**回答:** まだ整備されていない。プレゼン資料はMMA 1999総会の物であれば、英語で供給可能。

続いて、懸案のAlternate Media Transport Requirementについて検討しました。6部からなるドキュメントの内、1部から4部については「音のばらつきや遅延について音楽的背景を説明しているものであって、デバイスに要求しているperformanceではない」という意図を確認し、ドキュメント中の該当箇所には誤解

を避けるため注記してもらいました。また、現行製品やOSでの時間精度、performanceテスト方法についても報告がありました。

今後のテスト報告について、次のテスト報告提出を7月末までに、情報はTLWGとMPWG間で共有する事になりました。

今後の目標としては、AMTドキュメントの予定を確認、performance要求に対する基本的問題の解決、performanceテストに対するアプローチの決定、AMEIとMMAの間での今後の調整の計画、が挙げられました。

AMTドキュメントの予定として、5部のドラフト完が7月末、1部から4部についてはすべてのコメントを7月に出してもらい、8月末までに新しいドラフトを書き上げ、レビューの後9月末までに投票、となりました。

TLWG Sawada氏から、IEEE1394でのMIDIのRouting及び仮想ケーブルについて提案があり、TLWGで検討する事になりました。MPWGも協力します。

今後の会議予定について、9月のAES(NYC)、来年2月の冬NAMM、7月のデジタルミュージックフェア、10月の楽器フェア、8月上旬か9月、などの案が出されましたが、決定には至りませんでした。

### ■感想

MPWGが懸念していた事項が、話がこじれずに展開したので少々安心しました。但し、performanceテスト等でMPWGからの情報提供を継続する必要があります。このように、今後もMPWG/AMEIがIEEE1394やUSBとMIDIのパイプ役を果たすには、外部に対してより積極的に意思表示をしていく必要があると実感しました。



IBM Almaden Research Center



TLWG/MPWG Meeting



第4回 IEEE 1394 セミナにて  
講演中の MPWG 藤森氏

## <第4回 IEEE1394技術セミナー開催 AMEIからも講演>

6月14日(月)から16日(水)まで第4回IEEE1394技術セミナーが日経BP社、日経エレクトロニクスの主催、IEEE1394の普及促進団体であり、標準化活動の場でもある1394TA (Trade Association) の協賛で日経ホールにて開催されました。今回のセミナーでは6月2日から米国シリコンバレーで開催された開発者向け会議(主催は1394TA)の内容が盛込まれたIEEE1394の最新情報についても発表されました。

AMEIからはMIDI規格委員会応用研究部会MPWGの藤森潤一氏(ヤマハ株式会社 電子楽器事業部 第二開発室)が「音楽電子事業協会における電子楽器向けプロトコルの最新動向」というタイトルで講演を行いました。講演の中で藤森氏は、IEEE1394に対する

AMEI MPWGの取組みについて述べ、メンバー各社が協力してこれまでにMIDI World '98や1394TA大阪ミーティング等でIEEE1394を用いたオーディオ及びMIDI転送のデモンストレーションを行ってきたことと、実験を通して技術的な問題の解決にあたることを紹介しました。また、Audio and Music Data Transmission Protocolの概要と、このプロトコルが現在エンハンスメントの作業中であることも紹介しました。

AMEIが講演を行なった6月14日の受講者は320名とほぼ満席に近くIEEE1394への関心の高さがうかがえました。尚、当日の講演内容は7月30日15時15分より、デジタルミュージックフェア会場において、再講演が予定されています。

## 「MIDI 1.0規格書」発刊のご案内

本書はMIDIの管理運営にあたるAMEIが監修・発行する、MIDI機器及びMIDIソフトウェアの開発に携わっておられる方、MIDIデータの様々な利用を考えられておられる方々のための規格書である。また本書は英語版 MIDI 1.0規格書「The Complete MIDI1.0 Detailed Specification」 Document Version 96.1をもとに、各項目ごとに対応させて編集しており、基本的には英語版の構成に従っているが、日本語版「MIDI 1.0規格 Document Ver.4.1日本語版」(1989年発行)の表現を尊重しながら、なるべく解りやすくすることに努めた。今回発行されたMIDI 1.0規格書では以下の項目を含む、その後追加されたすべてのMIDIメッセージ及びRecommended Practices について掲載した。

- |                                |                      |                       |
|--------------------------------|----------------------|-----------------------|
| 1. MIDIとミュージック・シンセシス           | 4. スタンダードMIDIファイル1.0 | 7. MIDIマシーン・コントロール1.0 |
| 2. MIDI 1.0規格 Document Ver.4.2 | 5. GMシステム・レベル1       |                       |
| 3. MIDI タイムコード                 | 6. MIDIショーコントロール1.1  |                       |

●著作・発行：社団法人音楽電子事業協会  
●発売：株式会社リットーミュージック

●監修：社団法人音楽電子事業協会MIDI規格委員会  
●定価 6,500円+税 (会員価格 5,460円+税)